



2019年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2018年10月26日

上場会社名 株式会社メディアリンクス 上場取引所 東
 コード番号 6659 URL http://www.medialinks.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) ジョン・デイル
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 長谷川 渉 TEL 044-589-3440
 四半期報告書提出予定日 2018年10月29日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無: 有
 四半期決算説明会開催の有無: 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 2019年3月期第2四半期の連結業績（2018年4月1日～2018年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第2四半期	1,324	△9.9	△131	—	△139	—	△148	—
2018年3月期第2四半期	1,468	△27.5	△510	—	△515	—	△561	—

(注) 包括利益 2019年3月期第2四半期 △85百万円 (—%) 2018年3月期第2四半期 △549百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第2四半期	△26.18	—
2018年3月期第2四半期	△99.49	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期第2四半期	3,838	2,035	52.5	357.09
2018年3月期	4,422	2,119	47.4	371.97

(参考) 自己資本 2019年3月期第2四半期 2,014百万円 2018年3月期 2,097百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2019年3月期	—	0.00	—	—	—
2019年3月期 (予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 2019年3月期の連結業績予想（2018年4月1日～2019年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,900	△0.8	90	—	80	—	60	—	10.64

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

（注）詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年3月期2Q	5,675,300株	2018年3月期	5,675,300株
② 期末自己株式数	2019年3月期2Q	36,656株	2018年3月期	37,656株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年3月期2Q	5,638,002株	2018年3月期2Q	5,634,441株

（注）当社は、株式給付信託（J-ESOP）を導入しております。当該株式給付信託が保有する当社株式を、期末自己株式数として計上しております。また、期中平均株式数（四半期累計）の計算において、当該株式給付信託が保有する当社株式の数を控除しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想に記載した数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績は、今後のさまざまな要因によって予想数値と異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法）

当社は、2018年10月26日（金）にアナリスト向け説明会を開催する予定です。その模様及び説明内容（動画）については、当日使用する決算説明資料とともに、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

（金額の表示単位の変更について）

従来、表示単位未満を切り捨てて記載しておりましたが、2019年3月期第1四半期連結累計期間より表示単位未満を四捨五入して記載することに変更しております。

なお、比較を容易にするため、2018年3月期第2四半期連結累計期間及び2018年3月期についても四捨五入に組み替えて表示しております。

（日付の表示方法の変更について）

「2019年3月期 第1四半期決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しています。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用環境は改善が続いているものの、景気は足踏み状態が続いています。一方、世界経済は、堅調に推移していますが、貿易問題等の影響を受け、引き続き不透明な状況が続きました。

このような状況の下、当社グループは海外を中心に事業展開を進めました。北米市場は、一部顧客の設備投資計画の実行が遅れていることにより、前年同期に比べ売上が減少しました。オーストラリア市場は、保守サービスを中心に展開しましたが、前年同期に比べ売上が減少しました。欧州市場はロシアで開催された世界的なサッカー大会の映像伝送装置に採用されたことにより、前年に比べ大幅に売上が増加しました。国内市場は、放送局向けIPビデオルーターシステム、通信会社やケーブルテレビ局向けの映像伝送装置の売上が好調で、前年に比べて増加しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は、1,324百万円（前年同期比9.9%減）となりました。製品グループ別内訳では、ハードウェア製品が876百万円（同17.4%減）、その他が448百万円（同9.7%増）となり、海外売上比率は64.9%（前年同期74.9%）となりました。

経費面では、徹底した経費削減を継続的に行ったことにより、販売費及び一般管理費は904百万円（前年同期比32.3%減）となりました。また研究開発費は338百万円（同40.1%減）でした。

損益面では、営業損失は131百万円（前年同期は営業損失510百万円）、経常損失は139百万円（前年同期は経常損失515百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は、148百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失561百万円）となりました。

なお、当社グループは、映像通信機器のメーカーとして事業を行っており、当該事業以外に事業の種類がないため、セグメント別に事業を分類していません。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ584百万円減少し、3,838百万円となりました。主な変動要因は、受取手形及び売掛金の減少961百万円、現金及び預金の増加171百万円及び商品及び製品の増加161百万円によるものです。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ500百万円減少し、1,803百万円となりました。主な変動要因は、前受金の減少177百万円、買掛金の減少126百万円及び長期借入金の減少101百万円によるものです。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ84百万円減少し、2,035百万円となりました。主な変動要因は、親会社株主に帰属する四半期純損失148百万円の計上による利益剰余金の減少によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2018年10月19日に公表いたしました「2019年3月期第2四半期（累計）連結業績予想の修正に関するお知らせ」のとおり、2018年5月8日に公表した2019年3月期第2四半期連結業績予想を修正いたしました。

通期では当初の想定のとおり着地することを見込んでおりますので、2018年5月8日に公表した2019年3月期連結業績予想は据え置いております。

詳細につきましては、2018年10月19日に公表いたしました「2019年3月期第2四半期（累計）連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,086,646	2,257,185
受取手形及び売掛金	1,387,662	427,120
商品及び製品	530,716	691,995
仕掛品	4,302	17,552
原材料及び貯蔵品	163,247	181,932
その他	116,568	121,614
流動資産合計	4,289,141	3,697,397
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,292	1,248
工具、器具及び備品(純額)	43,717	51,944
有形固定資産合計	45,009	53,193
無形固定資産		
ソフトウェア	967	610
その他	1,188	1,007
無形固定資産合計	2,155	1,618
投資その他の資産		
投資有価証券	0	0
繰延税金資産	40,197	41,006
その他	45,432	45,159
投資その他の資産合計	85,630	86,164
固定資産合計	132,793	140,975
資産合計	4,421,934	3,838,372
負債の部		
流動負債		
買掛金	290,258	164,234
短期借入金	※ 950,000	※ 950,000
1年内返済予定の長期借入金	233,440	225,260
未払法人税等	3,377	5,632
前受金	261,538	84,814
その他	189,397	102,198
流動負債合計	1,928,009	1,532,139
固定負債		
長期借入金	314,400	213,600
リース債務	14,108	12,258
株式給付引当金	14,049	12,556
長期末払金	6,320	5,740
その他	26,267	26,806
固定負債合計	375,144	270,959
負債合計	2,303,153	1,803,098

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,681,923	1,681,923
資本剰余金	116,264	116,264
利益剰余金	359,455	211,872
自己株式	△41,325	△40,227
株主資本合計	2,116,316	1,969,831
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△19,292	43,687
その他の包括利益累計額合計	△19,292	43,687
新株予約権	21,756	21,756
純資産合計	2,118,780	2,035,274
負債純資産合計	4,421,934	3,838,372

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
売上高	1,468,349	1,323,704
売上原価	642,986	550,404
売上総利益	825,363	773,300
販売費及び一般管理費		
役員報酬	81,823	68,743
給料及び手当	340,788	224,491
研究開発費	564,301	337,767
その他	348,432	273,463
販売費及び一般管理費合計	1,335,345	904,464
営業損失(△)	△509,982	△131,164
営業外収益		
受取利息	97	588
受取配当金	1,282	413
その他	180	71
営業外収益合計	1,558	1,072
営業外費用		
支払利息	3,659	4,963
社債利息	87	—
為替差損	2,618	3,822
その他	561	—
営業外費用合計	6,926	8,785
経常損失(△)	△515,349	△138,876
特別利益		
固定資産売却益	22	15
特別利益合計	22	15
特別損失		
投資有価証券売却損	26,950	—
特別損失合計	26,950	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△542,277	△138,861
法人税、住民税及び事業税	17,001	6,337
法人税等調整額	1,298	2,385
法人税等合計	18,299	8,722
四半期純損失(△)	△560,576	△147,583
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△560,576	△147,583

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
四半期純損失(△)	△560,576	△147,583
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	11,698	62,979
その他の包括利益合計	11,698	62,979
四半期包括利益	△548,878	△84,604
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△548,878	△84,604
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△542,277	△138,861
減価償却費	12,491	11,643
株式給付引当金の増減額(△は減少)	△3,754	△1,493
受取利息及び受取配当金	△1,379	△1,002
支払利息	3,659	4,963
社債利息	87	—
為替差損益(△は益)	△3,792	6,322
投資有価証券売却損益(△は益)	26,950	—
固定資産売却損益(△は益)	△22	△15
売上債権の増減額(△は増加)	697,101	980,022
たな卸資産の増減額(△は増加)	△167,370	△191,447
仕入債務の増減額(△は減少)	△61,795	△131,909
前受金の増減額(△は減少)	58,370	△177,320
その他	△52,103	△89,505
小計	△33,834	271,399
利息及び配当金の受取額	1,379	969
利息の支払額	△3,746	△4,963
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△7,982	△4,344
営業活動によるキャッシュ・フロー	△44,183	263,061
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△25,755	△12,552
有形固定資産の売却による収入	22	66
無形固定資産の取得による支出	△1,661	—
投資有価証券の売却による収入	143,000	—
その他	△1,538	△529
投資活動によるキャッシュ・フロー	114,068	△13,014
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	19,000	—
長期借入金の返済による支出	△85,350	△108,980
社債の償還による支出	△22,500	—
株式の発行による収入	60	—
リース債務の返済による支出	△2,083	△2,456
財務活動によるキャッシュ・フロー	△90,874	△111,436
現金及び現金同等物に係る換算差額	13,939	29,668
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△7,050	168,278
現金及び現金同等物の期首残高	2,279,764	2,081,270
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,272,714	2,249,548

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

（税金費用の計算）

一部の連結子会社の税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（追加情報）

（「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用）

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。